



令和元年 11月27日

香川大学医学部附属病院は、「**がんゲノム医療拠点病院**」の指定を受けました。

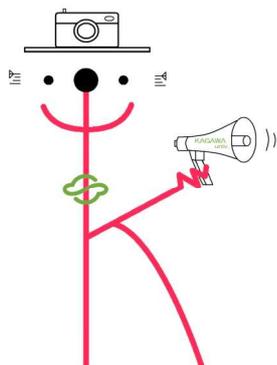
全国で 34 施設、四国では香川大学医学部附属病院（四国の国立大学では唯一）と四国がんセンター（愛媛県）の 2 施設のみが指定されました。

2019 年 9 月 19 日付けで香川大学医学部附属病院は、厚生労働大臣から「がんゲノム医療拠点病院」の指定を受けました。全国で 34 施設、四国では香川大学医学部附属病院（四国の国立大学では唯一）と四国がんセンター（愛媛県）の 2 施設のみが指定されました。

がんは遺伝子の異常に起因する病気であることは広く知られているところですが、治療のためにがんゲノム医療を必要とするがん患者が、全国どこにいても、がんゲノム医療を受けられる体制を構築するため、厚生労働省が「がんゲノム医療中核拠点病院」を全国に 11 箇所、「がんゲノム医療連携病院」を 156 箇所指定し、連携してゲノム医療が行われてきました。「がんゲノム医療中核拠点病院」は、患者のがん治療に有効と考えられる抗がん剤の候補や臨床試験・治験などの情報を整理し、エキスパートパネルと呼ばれる専門家の会議で患者に最適な治療法を選択、提供します。また、がんゲノム医療を専門とする人材育成や先進医療や治験の開発も行います。国立がん研究センター中央病院や東京大学医学部附属病院等、全国で 11 施設が指定されており、中国四国地方では岡山大学病院が指定を受けています。

今回、あらたに「がんゲノム医療連携病院」の中から 34 箇所の「がんゲノム医療拠点病院」が指定されました。新設された「がんゲノム医療拠点病院」は、「がんゲノム医療中核拠点病院」と同様に、独立してエキスパートパネル（検査の結果を多職種で医学的に解釈を行う専門者会議）を開催でき、がん遺伝子パネル検査（2019 年 6 月より保険診療）を自施設で実施できる機能を有する施設（人材育成は中核拠点と連携）で、がんゲノム医療の拠点としての役割を担うこととなります。

当院は今後、県内はもとより、拠点病院のない徳島県や高知県の医療機関のサポートも行い、四国のがん医療をより良いものとしていきたいと考えています。



➤ お問い合わせ先

香川大学 医学部附属病院

辻 晃仁 がんセンター長（臨床腫瘍学・教授）

担当 中野までお問い合わせください

TEL : 087-891-2081

E-mail : ccc@med.kagawa-u.ac.jp

※上記不在の場合 香川大学 医学部 医療支援課 大高